

進行/再発 大腸癌

Tri-weekly XELIRI+ペバシズマブ療法レジメン

治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 ゼローダ+イリノテカン+アバシチン療法

C-15

< 3週間間隔 × PDまで >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6~14日目	第15日目	第16~20日目	第21日目	
治療内容											
検査	採血	○								○	
診療	副作用の問診	○								○	
	検査結果	○								○	
治療中止基準	①WBC 3000未満 ②好中球1500未満 ③血小板10万未満 ④ヘモグロビン9.0未満 ⑤PS 2以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
内服薬 点滴	ゼローダ錠 1回800mg/m ² を1日2回朝・夕食後14日間投与7日間休薬	↓↓ 夕食後	↓↓ 朝・夕食後	↓↓ 朝・夕食後	↓↓ 朝・夕食後	↓↓ 朝・夕食後	↓↓ 朝・夕食後	↓↓ 朝・夕食後	休	↓↓ 夕食後	
	①生食100ml +アロカリス 235mg 1V +パロノセトロン0.75mg 1V +デキサート3.3mg×2A 点滴静注【30分】	↓									↓
	②生食100ml アバシチン(7.5mg/kg) 点滴静注【初回90分】【2回目60分】【3回目以降30分】	↓									↓
	③生食50ml 点滴静注【ルートフラッシュ】	↓									↓
	④生食500ml イリノテカン塩酸塩 (200mg/m ²) 点滴静注【90分以上かけて】	↓									↓
	⑤生食50ml 点滴静注【ルートフラッシュ】	↓									↓

☆ゼローダ錠：体表面積にあわせて朝・夕食後30分以内に1日2回14日間連日経口投与し、7日間休薬

体表面積	初回用量	錠数
<1.31m ² 未満	1回900mgを1日2回(1日1800mg)	1回3錠/1日6錠
1.31m ² 以上1.64m ² 以下	1回1200mgを1日2回(1日2400mg)	1回4錠/1日8錠
1.64m ² <	1回1500mgを1日2回(1日3000mg)	1回5錠/1日10錠

原発巣に対する手術などが前提としてある場合、手術からプロトコール治療開始までの期間を原則として4週間の最低期間を規定するが、主治医が必要と判断する場合は、初回コースのみはペバシズマブを休薬(省略)することができる。

看護のPoint!!

イリノテカンの特徴的な副作用は下痢。投与中～直後の早発型と、投与24時間以降の遅発型。ロペミンなどで対処
骨髄抑制と吐き気、脱毛の可能性あり。

イリノテカンは90分以上かければ大丈夫

ゼローダで皮膚障害・下痢の可能性もある。持参薬にワーフアリンがあれば主治医に報告(ゼローダとの相互作用あり)

アバシチンは投与時間に注意